

たかおか

市議会 だより

「黎明」（たかおか市議会だより表紙写真 応募作品） 撮影：山上 尊士

No.77 12月定例会号
令和7年（2025年）2月1日発行

12月定例会のあらまし	2P
議決結果一覧	4P
議会の新しい構成	5P
一般質問（一括質問・一括答弁）	6P
一般質問（一問一答）	10P
委員会の動き	12P

編集 ■ 広報広聴委員会

発行 ■ 高岡市議会

〒933-8601 高岡市広小路7-50

TEL 0766-20-1531

FAX 0766-20-1534

E-mail : gikai@city.takaoka.lg.jp

市議会ホームページから過去の本会議の会議録の閲覧・検索ができます。
本会議の録画映像は YouTube で配信しています。
パソコンやスマートフォンなどでご覧になれます。

ホームページは
こちら→



YouTube の
視聴はこちら→



補正予算・条例・令和5年度決算など

34議案を可決・承認・認定・同意

一般質問に13人が登壇

12月定例会は2日に開会し、19日に閉会しました。

初日には、継続審査となっていた令和5年度決算などの4議案を可決・認定しました。

市長から令和6年度一般会計補正予算をはじめ27議案が、議員から3議案が提出され、全ての議案を可決・承認・同意しました。

今定例会では、一般質問に13人の議員が登壇し、白熱した議論を展開しました。

可決・承認・認定・同意した主な議案等

条例

■急患医療センター条例の一部改正

急患医療センターにおいて、持続可能な医療提供体制を確保するため、診療時間の見直しを行うもの。

(施行期日)

令和7年4月1日

議員提出議案

■市議会議員定数条例の一部改正

次の一般選挙から議員定数を27人から25人に見直しを行うもの。

【急患医療センターの診療時間】

診療日	現行	改正後
月曜日～金曜日	午後7時～午後11時	午後7時30分～午後10時30分
土曜日		午後7時～午後10時30分
日曜日・祝日等	午前9時～午後11時	午前9時～午後5時 午後6時～午後10時30分

その他

■工事請負契約の締結

都市計画道路下伏間江福田線の京田地下道2期工事における本体工事を行うもの。

契約金額 2億790万円

■指定管理者の指定

4頁の議決結果一覧表に記載の議案第137号「議案第139号の3施設について、指定管理者を指定するもの。」

人事

■農業委員会委員

山本 誠氏(新任)

選挙

■庄川水害予防組合議会議員補欠選挙

出町 讓議員

狩野 安郎議員

■小矢部川中流水害予防組合議会議員補欠選挙

熊木 義城議員

上田 武議員

水口 清志議員

■高岡地区広域圏事務組合議会議員補欠選挙

山上 尊士議員

田中 勝文議員

酒井 善広議員

金森 一郎議員

■砺波地方衛生施設組合議会議員補欠選挙

新開 広恵議員

■富山県後期高齢者医療広域連合議会議員補欠選挙

田中 勝文議員

酒井 善広議員

意見書(要旨)

次の意見書を可決し、衆参両院議長、内閣総理大臣、関係大臣、内閣官房長官に提出しました。

■厚生年金への地方議会議員の加入を求める意見書

地方公共団体の重要な意思決定を行う地方議会は、多様化する民意の集約と、地方行政への反映が期待されており、その果たすべき役割と責任は重要性を増している。このような状況の中で、地方議会議員は、これまで以上に地方行政の広範かつ専門的な諸課題について、住民とのコミュニケーションを深めるとともに、的確に執行機関の監視や政策提言等を行うことが求められている。議員の活動範囲の広がりに伴い、近年は議員の専門化が進んでいる。議員が厚生年金に加入できるようにすれば、会社員等が議員に転身しても切れ目なく厚生年金の適用を受けることができる。家族の将来や老後の生活を心配することなく議員に立候補し、活動を続けることができる環境が整うことになり、多

様で有為な人材確保に大きく寄与すると考えられる。よって、国民の幅広い層からの政治参加や地方議会における多様な人材確保の観点から、厚生年金への地方議会議員の加入のための法整備を早急に実現するよう強く要望する。

■ひきこもり基本法の制定を求める意見書

内閣府の調査では、ひきこもり状態にある人は、全国で15歳から64歳までの年齢層に約146万人おり、50人に1人と推計される。ひきこもりの長期化、高年齢化が進むなか、80代の親と50代のひきこもりの子が孤立・困窮する8050問題や、親が亡くなった後の本人支援等の課題が大きな社会問題となっているが、ひきこもり支援に特化した法律は、現時点では制定されていない。また、ひきこもりの原因は多様かつ複合的であり、当事者ひとりひとりの状態・状況に応じたきめ細やかで切れ目のない支援が必要であるが、現状では適切な支援を受けられない事例も少なくない。国及び自治体が、適切な支援を行っていくためには、ひきこもり基本法を制定する必要があると考える。よって、国に対し、ひきこもり基本法の制定を強く求める。

討論要旨

―令和5年度決算―

○未来創政会

《全会計：賛成》

水道事業会計では、基幹管路の更新を行うなど、安全で安心な水道水の安定供給と、地震などの災害に強い水道施設の構築に努めたことを評価する。工業用水道事業会計では、収支改善が図られており、今後の安定的な経営に期待する。下水道事業会計では、老朽管路の更新事業をはじめ、浸水対策や基幹施設整備を実施したことを評価する。また、地震などの災害に迅速に対応したことを高く評価する。市民病院事業会計では、患者向け無料WIFIの整備や通院支援アプリの導入を評価する。経営面においては、平成28年度以来の赤字決算となり、今後一層厳しい病院経営が強いられることが見込まれるため、経営基盤の安定化を求める。

○立憲民主・社民議員団

《全会計：賛成》

水道事業会計では、安全で安心な水道水の安定供給を図るとともに、地震などの災害に強い水道施設を整備したことを評価する。工業用水道事業会計では、今後も動力費や維持管理費等の増加が予想されるため、引き続き経営改善に努めることを求める。下水道事業会計では、職員の技術の伝承と人員確保を行い、働く環境の向上に努めることを強く要望する。市民病院事業会計では、感染症患者の減少とともに規模を縮小しながらも、引き続き専用病床や発熱外来の医療提供に取り組んだほか、無料WIFIの整備などにより患者の利便性向上を図ったことを評価する一方、産科の再開を強く求める。

子育て支援として、民間の放課後児童クラブへの支援のほか、私立保育園の保育士就労に対する支援を行ったが、保育士の多忙さや低賃金といった問題の抜本的な解決が必要である。放課後児童クラブの入所児童や放課後等デイサービスの事業の利用者、不登校の子どもが増加しており、支援の充実を求める。教育現場が児童生徒に寄り添う余裕を持ち、すべての子どもたちにとって学校が安心できる場となることを求める。

○自由民主党高岡市議会議員会

《全会計：賛成》

水道事業会計では、安全で安心な水道水の安定供給と、災害に強い水道施設を整備したことを評価する。工業用水道事業会計では、引き続き経営改善に努めることを要望する。下水道事業会計では、未普及地域の解消を図るなか、各種工事を実施するとともに、DXの取組として、水位センサーを活用した管渠の不明水調査を実施したことを評価する。市民病院事業会計では、令和6年度能登半島地震の被災地にDMAT^{*}をはじめとした職員派遣を行い、支援に取り組んだことを評価する。経営面においては、厳しい状況に直面しており、経営改善に努めることを要望する。

数値は改善に向かっており、引き続き財政状況を考慮した市債発行に努めることを求める。物価・エネルギー価格の上昇によって市民生活が苦しくなったことに加え、災害の影響も大きい状況のなか、学校再編に伴う大型事業、子育て支援等に着実に対応したことを評価する。災害の影響や不安定な社会情勢はまだまだ続いており、引き続き市民の声を集め、その話に耳を傾け、気持ちに寄り添う対応に努めることを要望する。

○高岡愛

《全会計：賛成》

水道事業会計では、安全で安心な水道水の安定供給と、災害に強い水道施設を整備したことを評価する。工業用水道事業会計では、引き続き経営改善に努めることを要望する。下水道事業会計では、未普及地域の解消を図るなか、各種工事を実施するとともに、DXの取組として、水位センサーを活用した管渠の不明水調査を実施したことを評価する。市民病院事業会計では、令和6年度能登半島地震の被災地にDMAT^{*}をはじめとした職員派遣を行い、支援に取り組んだことを評価する。経営面においては、厳しい状況に直面しており、経営改善に努めることを要望する。

○公明党

《全会計：賛成》

水道事業会計では、安全で安心な水道水の安定供給と、災害に強い水道施設を整備したことを評価する。工業用水道事業会計では、今後も動力費や維持管理費等の増加が予想されるため、引き続き経営改善に努めることを求める。下水道事業会計では、職員の技術の伝承と人員確保を行い、働く環境の向上に努めることを強く要望する。市民病院事業会計では、感染症患者の減少とともに規模を縮小しながらも、引き続き専用病床や発熱外来の医療提供に取り組んだほか、無料WIFIの整備などにより患者の利便性向上を図ったことを評価する。経営面においては、厳しい状況に直面しており、経営改善に努めることを要望する。

水道事業会計では、安全で安心な水道水の安定供給と、地震などの災害に強い水道施設の構築に努めたことを評価する。工業用水道事業会計では、収支改善が図られており、今後の安定的な経営に期待する。下水道事業会計では、老朽管路の更新事業をはじめ、浸水対策や基幹施設整備を実施したことを評価する。また、地震などの災害に迅速に対応したことを高く評価する。市民病院事業会計では、患者向け無料WIFIの整備や通院支援アプリの導入を評価する。経営面においては、平成28年度以来の赤字決算となり、今後一層厳しい病院経営が強いられることが見込まれるため、経営基盤の安定化を求める。

水道事業会計では、安全で安心な水道水の安定供給を図るとともに、地震などの災害に強い水道施設を整備したことを評価する。工業用水道事業会計では、今後も動力費や維持管理費等の増加が予想されるため、引き続き経営改善に努めることを求める。下水道事業会計では、職員の技術の伝承と人員確保を行い、働く環境の向上に努めることを強く要望する。市民病院事業会計では、感染症患者の減少とともに規模を縮小しながらも、引き続き専用病床や発熱外来の医療提供に取り組んだほか、無料WIFIの整備などにより患者の利便性向上を図ったことを評価する一方、産科の再開を強く求める。

水道事業会計では、安全で安心な水道水の安定供給と、災害に強い水道施設を整備したことを評価する。工業用水道事業会計では、引き続き経営改善に努めることを要望する。下水道事業会計では、未普及地域の解消を図るなか、各種工事を実施するとともに、DXの取組として、水位センサーを活用した管渠の不明水調査を実施したことを評価する。市民病院事業会計では、令和6年度能登半島地震の被災地にDMAT^{*}をはじめとした職員派遣を行い、支援に取り組んだことを評価する。経営面においては、厳しい状況に直面しており、経営改善に努めることを要望する。

水道事業会計では、安全で安心な水道水の安定供給と、災害に強い水道施設を整備したことを評価する。工業用水道事業会計では、引き続き経営改善に努めることを要望する。下水道事業会計では、未普及地域の解消を図るなか、各種工事を実施するとともに、DXの取組として、水位センサーを活用した管渠の不明水調査を実施したことを評価する。市民病院事業会計では、令和6年度能登半島地震の被災地にDMAT^{*}をはじめとした職員派遣を行い、支援に取り組んだことを評価する。経営面においては、厳しい状況に直面しており、経営改善に努めることを要望する。

水道事業会計では、安全で安心な水道水の安定供給と、災害に強い水道施設を整備したことを評価する。工業用水道事業会計では、今後も動力費や維持管理費等の増加が予想されるため、引き続き経営改善に努めることを求める。下水道事業会計では、職員の技術の伝承と人員確保を行い、働く環境の向上に努めることを強く要望する。市民病院事業会計では、感染症患者の減少とともに規模を縮小しながらも、引き続き専用病床や発熱外来の医療提供に取り組んだほか、無料WIFIの整備などにより患者の利便性向上を図ったことを評価する。経営面においては、厳しい状況に直面しており、経営改善に努めることを要望する。

停滞していた社会・経済活動が回復に向かうなか、市民、地域、企業の挑戦を並び、それぞれの課題解決につながる取組を後押しするとともに、財政の健全化を着実に進めたことを評価する。令和6年度

停滞していた社会・経済活動が回復に向かうなか、市民、地域、企業の挑戦を並び、それぞれの課題解決につながる取組を後押しするとともに、財政の健全化を着実に進めたことを評価する。令和6年度

停滞していた社会・経済活動が回復に向かうなか、市民、地域、企業の挑戦を並び、それぞれの課題解決につながる取組を後押しするとともに、財政の健全化を着実に進めたことを評価する。令和6年度

停滞していた社会・経済活動が回復に向かうなか、市民、地域、企業の挑戦を並び、それぞれの課題解決につながる取組を後押しするとともに、財政の健全化を着実に進めたことを評価する。令和6年度

停滞していた社会・経済活動が回復に向かうなか、市民、地域、企業の挑戦を並び、それぞれの課題解決につながる取組を後押しするとともに、財政の健全化を着実に進めたことを評価する。令和6年度

となることを求める。

未来を見据えた積極的な投資を行うとともに、投資的経費の抑制、公債費の平準化等の取組を着実に推進し、市債残高が900億円を下回る結果となったことを評価する。今後も厳しい財政状況が続くが見込まれるが、まずは震災からの復旧・復興を最優先で進めながら、更なる挑戦の循環を生み出し、安全・安心を守りながら、高岡の変化と進化を感じてもらえるよう、持続可能な財政運営に努めることを要望する。

会派構成変更のお知らせ

一部の会派において、所属議員が次のとおり変更となりました。
※議席順

(令和6年12月19日現在)

未来創政会 (15名)

梅島 清香 田中 勝文
筏井 哲治 中村 清志
高岡 宏和 坂林 永喜
藪中 一夫 福井 直樹
酒井 善広 本田 利麻
金森 一郎 曾田 康司
水口 清志 大井 正樹
狩野 安郎

自由民主党

高岡市議会議員会 (2名)

林 貴文 中川 加津代

議決結果一覧表 (令和6年12月定例会)

[議案]

番号	件名	結果
第118号	令和5年度水道事業会計未処分利益剰余金の処分	可決
第119号	令和5年度下水道事業会計未処分利益剰余金の処分	
第122号	令和6年度一般会計補正予算(第6号) 65億6,001万円 ＜補正予算の主な内容＞ ・私立認定こども園等施設型給付費 3億6,319万円 ・私立保育所入所運営委託費 1億9,082万円 ・企業立地助成金 1億7,502万円 ・障害者介護・訓練等給付費 1億5,000万円 ・生涯学習センター ZEB化検討事業 413万円 ・被災者新生活応援事業 200万円 ・市債の繰上償還 12億4,025万円 ・市債の借り換え 35億6,500万円 など	
第123号	令和6年度国民健康保険事業会計補正予算(第1号)	
第124号	令和6年度介護保険事業会計補正予算(第2号)	
第125号	令和6年度高岡市民病院事業会計補正予算(第2号)	
第126号	令和6年度水道事業会計補正予算(第3号)	
第127号	令和6年度工業用水道事業会計補正予算(第1号)	
第128号	令和6年度下水道事業会計補正予算(第3号)	
第129号	市税賦課徴収条例の一部改正 附則「手数料条例の一部改正」	
第130号	急患医療センター条例の一部改正	
第131号	印鑑条例の一部改正	
第132号	高岡御車山会館条例の一部改正	
第133号	公民館条例の一部改正	
第134号	体育施設条例の一部改正	
第135号	水道の布設工事監督者及び水道技術管理者の資格基準等に関する条例の一部改正	
第136号	工事請負契約の締結 (下伏間江福田線立体交差整備2期その3工事)	
第137号	指定管理者の指定(ふれあい福祉センター)	
第138号	指定管理者の指定(新高岡駅観光交流センター)	
第139号	指定管理者の指定(鋳物資料館)	
第140号	令和6年度一般会計補正予算(第7号) 11億7,892万円 ＜補正予算の主な内容＞ ・物価高騰対応重点支援給付金給付事業 5億4,350万円 ・国補正予算を活用した道路整備等 1億7,000万円 ・介護サービス継続支援事業等(光熱費分、食材費分) 9,676万円 ・高岡おもてなし旅行商品支援事業 4,150万円 など	

[議案]

番号	件名	結果
第141号	令和6年度高岡市民病院事業会計補正予算(第3号)	可決
第142号	令和6年度水道事業会計補正予算(第4号)	
第143号	令和6年度工業用水道事業会計補正予算(第2号)	
第144号	令和6年度下水道事業会計補正予算(第4号)	
第145号	市職員の給与に関する条例等の一部改正	
第146号	農業委員会の委員の任命について同意を求める件	同意

[報告]

番号	件名	結果
第5号	専決処分の報告 (令和6年度一般会計補正予算(第4号)) 2,474万円 ＜補正予算の内容＞ 県議会議員補欠選挙事務費 2,474万円	承認
第6号	専決処分の報告 (令和6年度一般会計補正予算(第5号)) 5,141万円 ＜補正予算の内容＞ 衆議院議員選挙事務費 5,141万円	

[議員提出議案]

番号	件名	結果
第8号	市議会議員定数条例の一部改正	可決
第9号	厚生年金への地方議会議員の加入を求める意見書	
第10号	ひきこもり基本法の制定を求める意見書	

[認定]

番号	件名	結果
第1号	決算の認定 (令和5年度高岡市民病院事業会計決算) (令和5年度水道事業会計決算) (令和5年度工業用水道事業会計決算) (令和5年度下水道事業会計決算)	認定
第2号	決算の認定 (令和5年度一般会計歳入歳出決算) (令和5年度国民健康保険事業会計歳入歳出決算) (令和5年度荻布奨学金事業会計歳入歳出決算) (令和5年度駐車場事業会計歳入歳出決算) (令和5年度介護保険事業会計歳入歳出決算) (令和5年度後期高齢者医療事業会計歳入歳出決算)	

[議員別賛否一覧] (賛否が分かれた議案等のみ)

○…賛成 ×…反対 ※…議長は表決に加わりません。

議員名	山上 尊士	新開 広恵	熊木 義城	出町 譲	梅島 清香	田中 勝文	埜田 悦子	林 貴文	筏井 哲治	中村 清志	高岡 宏和	石須 大雄	坂林 永喜	藪中 一夫	中川 加津代	福井 直樹	酒井 善広	本田 利麻	上田 武	金森 一郎	曾田 康司	水口 清志	大井 正樹	狩野 安郎
議案番号	議員提出議案第8号	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	×	棄権	棄権	×	棄権	○	※	×	○	○	○	○	○

議会の新しい構成決まる

12月定例会初日の2日に、副議長の辞職に伴う選挙を行いました。

最終日の19日に、議長の辞職に伴う選挙を行いました。

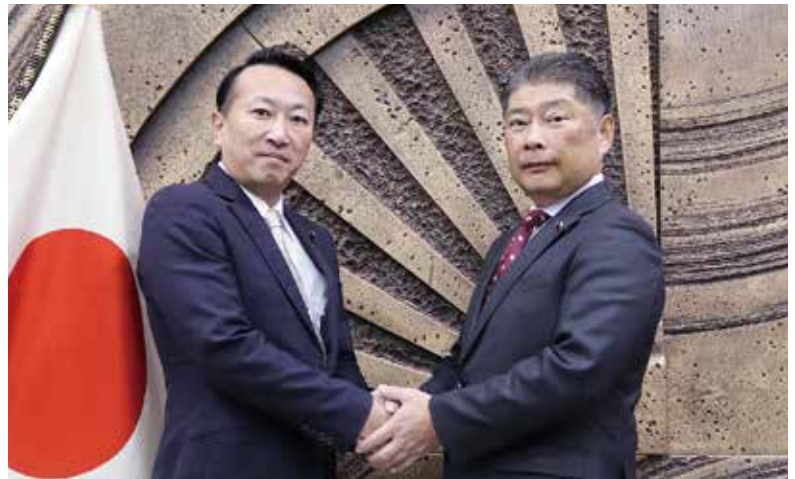
また、常任委員会の所属変更、議会運営委員会・特別委員会等の委員を選任し、議会諸役員を改選しました。

議長、抱負を語る

12月定例会において歴史と伝統ある高岡市議会の議長を拝命し、その重責を日々感じております。昨年の元日に発生した令和6年能登半島地震から1年が経過しました。被災された皆様には、心からお見舞い申し上げます。

高岡市は、震災復旧推進課の新設や下水道工務課の体制強化等を行い、復旧・復興にアクセル全開で向かっております。震災を教訓とした強い高岡の実現、誰ひとり取り残さない社会の実現を目指していかねばなりません。

さて、令和7年は北陸新幹線が開業して



数中議長

高岡副議長

議長に 数中 一夫 氏 副議長に 高岡 宏和 氏

略歴

数中議長 副議長、議会運営委員長、総務文教常任委員長、広報広聴委員長など

高岡副議長 総務文教常任委員長、産業建設常任委員長など

◎委員長 ○副委員長

※委員長・副委員長以外は議席順。

産業建設 常任委員会	民生病院 常任委員会	総務文教 常任委員会
◎新開 広恵 ○筏井 哲治 出町 譲 石須 大雄 数中 一夫 本田 利麻 曾田 康司 狩野 安郎	◎田中 勝文 ○中村 清志 熊木 義城 埜田 悦子 中川加津代 福井 直樹 金森 一郎 大井 正樹	◎梅島 清香 ○山上 尊士 林 貴文 高岡 宏和 坂林 永喜 酒井 善広 上田 武 水口 清志

議会改革 検討委員会	広報広聴 委員会
◎金森 一郎 ○筏井 哲治 新開 広恵 熊木 義城 梅島 清香 田中 勝文 林 貴文 中村 清志 石須 大雄 福井 直樹	◎山上 尊士 ○筏井 哲治 出町 譲 梅島 清香 田中 勝文 埜田 悦子 林 貴文 中村 清志 坂林 永喜 酒井 善広

議会運営 委員会
◎本田 利麻 ○筏井 哲治 山上 尊士 熊木 義城 梅島 清香 田中 勝文 埜田 悦子 中村 清志 中川加津代 曾田 康司

人口減少社会 対策特別委員会	港湾・交通・観光 対策特別委員会
◎福井 直樹 ○酒井 善広 山上 尊士 熊木 義城 梅島 清香 埜田 悦子 坂林 永喜 中川加津代 金森 一郎 曾田 康司 水口 清志	◎大井 正樹 ○上田 武 新開 広恵 出町 譲 田中 勝文 林 貴文 筏井 哲治 中村 清志 石須 大雄 本田 利麻 狩野 安郎

一般質問

(一括質問・一括答弁)

今定例会では、9人が市政全般にわたり一括質問・一括答弁方式で質問しました。本会議での質問順に、主な質問と答弁の要旨をお知らせします。



金森 一郎
未来創政会

金森議員の
質問の様子はこちら



令和7年度当初予算

問 7年度当初予算をどのよう
な思いで編成するのか。

市長 7年度予算編成方針に
おいては、市民の声や様々な
課題と向き合ってきた経験をも
とに、2つの特別枠を設けた。
一日も早い復旧・復興を推し
進め、市民の安全確保に向けた
地域の強さやまちの復興につ
ながる「復旧・復興推進枠」と、
こどもたちをまんなかに据えた
全方位型の事業をはじめとした
「高岡を前へ進める事業枠」を
予算編成の両輪として、重点的
に取り組んでいく決意である。私
の今任期中の集大成となる当初予
算編成作業であり、市長として
課された使命を果たすべく、未
来へ希望が持てる予算となる
よう努めていく。

高岡駅周辺のまちづくり

問 高岡駅周辺のまちづくり
について問う。

(1)高岡駅南側のまちづくりを
どのように進めていくのか。
(2)第4期中心市街地活性化基
本計画が折り返しを迎えたが、
進捗状況と、まちなかでのに
ぎわい創出の手応えは。

市長 (1)高岡駅南地区では、
駅周辺部や幹線道路沿線にお
いて、遊休地や空きテナント
が発生し、商業・業務施設な
どの入れ替えが進んでいる。
本市では、駅直近に位置する
民間の遊休地について、所有
者と都市機能の導入に向けた
意見交換を進めており、今後
は、取得も含めた当該遊休地
の利活用を検討し、駅南地区
を含む高岡駅周辺が更なる高
次都市機能の集積地となるよ
う努めていく。

産業振興部長 (2)第4期中心
市街地活性化基本計画で設定
している4項目の目標指標は、
どの指標ともコロナ禍以降改
善傾向にある。特に、令和5
年度に初めて中心市街地エリ
アの人口動態が社会増に転じ

たことや、近年、中心市街地
における店舗開業数が増加し
ていることは、各計画事業の
取組が成果として表れたもの
と推察しており、市としては、
目標指標の達成に向けて、引
き続き各種事業に精力的に取
り組んでいく。



田中 勝文
未来創政会

田中議員の
質問の様子はこちら



人口減少対策

問 県が公表した県内将来人
口増減指数に対する本市の受
け止めは。また、今後の人口
減少対策の方針は。

市長 県内市町村の将来人口
増減指数をもとに換算すると、
2060年の本市の人口は約
10万2800人となる。国全
体で対応していかねば、人口
減少の流れに歯止めがかか
らない状況にあると重く受け
止めている。人口減少社会に
あつては、本市の強みや魅

力を最大限に生かしながら、
全てのひとの力を結集し、地
域社会・地域経済の新たな活
力を創り出していくとともに、
市民生活や地域社会の仕組み、
構造を持続可能なものと変
革していくことが必要である。
次の世代やその次の世代のこ
どもたちが、夢や希望をもて
るまちへと進化させていくこ
とで、人口減少に打ち克つ
「持続可能な未来都市 高岡」
を目指していきたい。

児童生徒の地域活動への参加

問 児童生徒が地域活動に参
加する取組を進めては。

教育長 各学校では、地域の
祭礼やイベントに参加すると
ともに、地域の方々の協力の
もとで農業体験を行っている。
このほか、地域交流センター
で開催されている行事に中学



農業体験を行う児童

若者の地域活動への支援

問 若者地域活動支援補助金
の実績と評価は。

生が運営ボランティアとして
携わる取組も行われている。
今後とも、ふるさと高岡や地
域への愛着と誇りを育み、持
続可能な地域や社会の担い手
として活躍できるよう、こう
した取組を大切にしていきたい。

生活環境文化部長 現在まで
に13の地区で申請があり、若
い世代の発案で事業を実施さ
れているところである。三世
代交流を目的としたイベント
が多く、子どもによるステー
ジ発表や地元にもつわるクイ
ズ大会、参加者全員での校歌
合唱など、郷土愛溢れる内容
となった。地域を愛する若い
方々の思いを形にするための
支援ができたとともに、地域
の新たな担い手の発掘にも寄
与したものと考えている。



山上 尊士
公明党

山上議員の
質問の様子はこちら



活力ある地域づくりの取組

問 若者地域活動支援補助金

が活用された事業で地域交流センターを活用した実績は。

生活環境文化部長 令和6年4月からの地域交流センター始動にあわせ、若い世代が企画、運営に協力して地域の課題解決や活性化に取り組む事業を支援するため、当該補助金を設けた。申請があつた13件のうち、センターを活用した事業は7件で、内容はeスポーツや防災をテーマとした多世代交流などである。飲食や雑貨など地域にゆかりのある事業者が出店するマルシェが開催され、来場者で賑わった地区もあったと伺っている。

空き家管理チェックリスト

国土交通省が作成している空き家管理チェックリストを市でもPRし活用しては。

都市創造部長 本市では、周辺環境へ悪影響を及ぼしている空き家等の所有者等に対して、適正な管理や管理不全な状態を解消するための措置を依頼している。また、パンフレットやケーブルテレビ等でも情報発信を行っている。当該チェックリストは空き家の状態のチェックポイントを問

いかけ、対応方法を分かりやすく答える形式となっている。空き家対策は喫緊の課題であり、所有者が空き家の状態を



地域交流センターで広がる多世代交流

確認し、適正な管理を行えるようにチェックリストを周知するとともに、市としての空き家の適正管理に関する取組の中で活用を進める。

ヤングケアラーへの相談支援

ヤングケアラーが、より気軽に相談できるように、LINEアプリを活用した相談窓口を開設しては。

福祉保健部長 LINEアプリを活用した相談においては、電話や対面で打ち明けづらい状況を気軽に相談できる一方で、短い文面からは相手の感情を読み取ることや、複雑な事例では内容の十分な把握が困難といった課題がある。市としては、信頼関係のある身

近な機関等において、電話や対面により安心して相談できる環境づくりを進めるとともに、LINEアプリを活用した相談窓口について、国及び他の自治体等における実施状況や課題対応等の情報収集に取り組んでいく。



上田 武
立憲民主
社議員団

上田議員の
質問の様子はこちら



国の動向に伴う本市への影響

国の動向に伴う予算等への影響について問う。

(1)年収の壁引き上げについての所見は。

(2)水道の老朽管路の耐震化事業は全国的な課題であり、関係機関と連携し、国に財政支援の拡充を要望しては。

市長 (1)いわゆる年収103

万円の壁について、国において見直し議論されており、政策的には理解するところである。一方、仮に基礎控除額を国・地方において引き上げた場合、地方自治体の基幹税である個人住民税の大幅な減収が見込まれるほか、所得税の減収に伴う地方交付税の減

が見込まれる。地方財政への影響が懸念され、行政サービスの提供に支障をきたす可能性があることから、市として全国市長会を通じて指摘している。見直しにあたっては、住民に必要な行政サービスを提供する基盤である地方税財源に影響を及ぼすことのないよう、財源対策もあわせて検討するなど、十二分に議論し結論を出すことを求めたい。

上下水道事業管理者 (2)耐震化を加速させるためには大きな事業費が必要となり、上下水道料金等、経営にも影響することから、国の持続的かつ安定的な財政支援が不可欠と考えている。このため、交付金事業における補助率の引き上げや採択要件の緩和等をこれまででも要望している。今後

も日本水道協会や日本下水道協会と連携しながら、国への要望活動を強化していきたい。

保護司の安全確保

令和6年5月に保護司が殺害された事件の受け止めと、安全確保について市として協力できることは。

福祉保健部長 当該事件は、保護司制度・更生保護制度の根幹を揺るがす深刻な事態と受け止めている。事件報道直後に、保護司の方々の不安を

少しでも解消することができるよう、市保護司会に対し、報道を受けて活動に不安を感じておられる方は市に相談いただきたい旨を伝え、保護司会と連携し対応している。今後とも積極的に協力していく。



出町 譲
高岡 愛

出町議員の
質問の様子はこちら



高岡の伝統工芸の売り込み

海外販路開拓支援事業の執行見込額と費用対効果について、見解は。

産業振興部長 令和6年度の海外販路開拓支援事業は、米

国中西部地域への販路開拓支援事業や地域おこし協力隊の任用経費、クラフトヴァレー事業等の経費を計上しており、現在も事業の進行中であるため、執行見込額は確定していない。本事業の目的は、米国の伝統技術をはじめとした本市の認知度向上と新たな市場開拓であり、売上だけに特化しているものではないが、招聘バイヤーによる多額の商品買付やテストマーケティングでの売上状況から、期待を

超える反応があり、手応えを感じている。また、今回の事業内容を見本市出展ではなくバイヤー招聘に特化することで、米国での高岡ファンを増やすといった良い見直しができたものと考えている。

震災復興

問 液状化対策について問う。

(1) 一部損壊以上で液状化被害を受けている住宅が500件以上あるのに対し、液状化被害宅地復旧支援事業の申請件数が31件にとどまっているが、見解は。

(2) 面的な液状化対策で、住民の合意形成の協議の場に行政が参加する考えはあるのか。

都市創造部長 (1) 液状化被害宅地復旧支援事業については、令和6年7月の手続開始から

これまでに、申請済の31件を除き、申請に至っていないが、延べ120件を超える相談を受けている。被災者から伺っている申請に関する相談の内容などから、今後の申請状況を注視していきたい。

(2) 面的な液状化対策の実施にあたっては、有効な対策工法の選定に加え、事業についての住民の総意が何よりも重要と考えている。そのためにも、地域で十分に議論をしていた

るよう、適時、必要とされる情報提供や説明を行うなど、協議の場に参加していく。



桒田 悦子
立憲民主
社民議員団

桒田議員の
質問の様子はこちら



剪定枝の回収

問 令和6年10月に行った剪定枝回収リサイクル向上実証実験について、定期的な実施と地域への周知が求められるが、今後の予定は。

生活環境文化部長 実証実験

時に行ったアンケートの結果、市南部地域において非常に多くの回収ニーズがあることが分かった。今後、アンケート結果を考慮し、実施時期の定期化や実施場所の分散化、また、大量の剪定枝について、待ち時間を短くして積み下ろし、効率的に分別するなど、よりよい実施方法を検討し、7年度以降も実施していく。

ひきこもり支援

問 本市のひきこもりの方への支援状況は。

福祉保健部長 本市では、福祉連携推進室が中心となり、

幅広い年代のひきこもり相談に対応している。相談の多くは、当事者を支える家族から寄せられており、適切な関わり方の助言や聞き取りによる精神的支援を行っている。当事者に対しては、継続的な訪問により信頼関係を築きながら、まずは本人から相談していただけるよう丁寧に働きかけを行っている。本人からの相談につながった場合には、意向や状態に応じて、様々な分野の機関や部局と連携し、就労や活動への参加を促すなど、人や社会とのつながりを回復することができるよう支援を行っている。

シングルマザー等への支援

問 支援を受けながらシングルマザー等が生活する母子生活支援施設の利用について、過去3年間の本市での相談状況は。

福祉保健部長 本市では、母子・父子自立支援員による相談を行うとともに、県女性相談支援センターや、市男女平等推進センター等の関係機関と連携を図りながら、相談者を交えて支援内容を検討し、

必要な支援につなげている。こうした体制のもと、母子生活支援施設の利用に関して寄せられた相談は、令和3年度

は1件、4年度は2件、5年度は2件である。



林 貴文
自由民主党
高岡市議会議員

林議員の
質問の様子はこちら



震災による税制上の優遇措置

問 令和6年能登半島地震の被害により、公費解体や自費解体などで更地になった住家の敷地について、固定資産税が上がるのが想定されるが、税制上の優遇措置は。

総務部長 罹災調査の判定が半壊以上の住宅を公費解体または自費解体した場合、更地であっても令和7年度分まで、その敷地を住宅用地とみなし固定資産税の軽減措置を継続する。

万葉文化をつなぐ取組

問 若い世代にも万葉歴史館に関心をもってもらえるよう取組を進めては。

生活環境文化部長 最近では、年齢や万葉の知識の有無に関わらず気軽に参加できるイベントとして、万葉衣装ファッションショーや万葉衣装行列を開催し好評を得た。また、



第9回高校生万葉短歌バトルin高岡

起業家精神を持った人材育成

問 創業やベンチャー企業による地域経済活性化を図るためには、将来を見据え、子どもの頃から創業の意識付けが重要と考えるが、見解は。

産業振興部長 本市の持続的な経済活性化のためには、子どもの頃から創業の意識付けが重要であり、失敗からの

学びや、挑戦すること自体の価値について理解を深めるため、起業家精神を育む教育の啓発・推奨も方法の一つであると考えている。また、将来の起業・創業へのイメージを持つためには、起業家やベンチャー企業の方々が、子どもたちに自身の経験や知識を生むの形で伝えることも効果的な方策であることから、地元ゆかりの起業家を講師に招き、特別授業を開催する予定である。こうした取組を通じて、子どもたちが創業やベンチャーへの理解を深めるとともに、自身で考え、自身を信じて行動する力を育み、将来の高岡を担う起業家精神を持った人材育成を図っていく。



新開 広恵
公明党

新開議員の
質問の様子はこちら▼



脳脊髄液減少症

問 脳脊髄液減少症に関する相談窓口を市で設けては。

福祉保健部長 本市では、保健センターに心身の健康に関する相談窓口を設けており、保健師等の専門職が電話や来

所による相談に対応している。脳脊髄液減少症のような症状で悩んでいる方には、体調や不安な気持ちを丁寧に向い、診療可能な医療機関への受診を勧めるとともに、悩みを一人で抱え込まないよう患者・家族を支援する団体等の情報を提供するなど、相談者に寄り添いながら、必要な支援につなげるよう努めていく。

聴覚補助器員の活用を

問 市役所において耳が聞こえづらい方への接遇は。また、窓口の職員とのやりとりを円滑に行う策として、軟骨伝導イヤホン導入を検討しては。

総務部長 本市では、耳が聞こえづらい方への窓口対応として、ゆっくり分かりやすく話すことや、必要に応じて筆談により意思疎通を図るなど、状況に応じた接遇に努めている。軟骨伝導イヤホンは、音漏れが少ない、装着時の痛みが少ない、衛生的など、従来の骨伝導イヤホンに比べメリットが大きいと認識しており、導入自治体での活用状況や導入効果等について、今後、調査・研究を進めていきたい。

公園のトイレの改修を

問 高岡古城公園や高岡おとぎの森公園の入口付近のトイ

レを、オストメイト対応となるように、バリアフリートイレに改修しては。

都市創造部長 両公園の更なるバリアフリー化は、幅広い公園利用者の利便性向上において非常に大切な視点であることから、オストメイト対応を含むトイレの改修に取り組みたい。高岡古城公園については、国史跡としての文化財保護の観点から、スペースの制約といった条件のもとで改修する場合の課題整理を含め、できる限り早く改修したい。高岡おとぎの森公園については、今後予定する園内施設の改修計画も念頭に置いて、その着手時期を見極めたい。



中村 清志
未来創政会

中村議員の
質問の様子はこちら▼



高齢者の移動支援

問 高齢者の移動支援対策として、地域の実情に応じてどのような取組をしているのか。

福祉保健部長 本市では、令和5年度から、牧野地区において、住民主体の通所型サービスに通う高齢者の移動支援

を地区内の事業所に担っていただいております。その経費の補助を行っている。また、6年度から、牧野地区、二上・守山地区において病院への送迎支援を開始するなど、移動支援の拡充を図った。移動支援の継続には、地域住民の方や事業所の協力が必要であることから、今後とも地域と意見交換を行い、円滑な事業実施に努め、地域の実情に応じた移動支援地区の拡大、事業の拡充に努めていく。

ブロック塀等の処分と利活用

問 令和6年能登半島地震発災当初に回収したブロック塀等の処分方法は。

生活環境文化部長 市内各地で多くのブロック塀等が崩れて



倒壊して回収されたブロック塀等

る被害が確認されており、市が回収したブロック塀等は、約4200トンとなっている。ブロック塀等の処分については、民間処理施設に搬出し、機械破碎し、異物を除去して粒度調整され、再生砕石や再生粉砕として路盤材、構造基礎材等として利用できるよう資源化処理を行っている。

ワクチン接種

問 带状疱疹予防接種費用助成について、その効果と合わせて周知を図っては。

福祉保健部長 带状疱疹は痛みを伴うことが多く、ワクチンを接種することで発症に加え、重症化を予防することが期待できる。このため本市では、令和6年度から带状疱疹の発症及び重症化の予防を図るため、50歳以上を対象に带状疱疹予防接種にかかる費用の一部を助成しており、これまで市広報紙や市ホームページ、市内医療機関でのポスター掲示による周知を図っている。接種を希望する方が接種できるよう、必要な情報と接種費用の助成について、引き続き医療機関と連携しながら周知していく。



一般質問

(一問一答)

今定例会では、4人が市政全般にわたり、一問一答方式で質問しました。本会議での質問順に、主な質問と答弁の要旨をお知らせします。



熊木 義城
高岡 愛

熊木議員の
質問の様子はこちら▼



子育て支援施策の充実を

問 合計特殊出生率、出生数の向上には、今以上の子育て支援施策が必要と考えるが、見解は。

福祉保健部長 本市では、特定不妊治療費の助成の拡充や、産前・産後ヘルパー派遣など、切れ目なくきめ細やかな支援を充実させてきた。これらの施策はもとより、社会全体で子どもや子育て当事者を支え、組を推進することにより、子どもを安心して産み育てやすい社会を実現することが重要と考えている。

第2子保育料の無償化

問 所得制限なしの第2子保育料無償化について、県が市町村と連携しながら進めてい

きたい考えを示しているが、本市の見解は。

福祉保健部長 本市では、第2子の保育料について、国や県の制度による軽減に加え、独自の軽減を実施している。市としては、これまで国や県に対し軽減の拡充を要望しており、第2子の保育料無償化については、県と連携し検討を進めていきたい。

赤レンガの建物の利活用

問 旧高岡共立銀行の利活用推進における総事業費のうち本市の財政負担は。また、どのような事業スキームで進めていくのか。

未来政策部長 本事業では、国・県の支援制度の活用を想定しており、事業者の設計作業等の進捗を見ながら関係機関と協議を進めていくこととしている。事業スキームについては、事業全体をコーディネートする共同事業体で事業展開していく提案となっており、構成事業者がそれぞれの役割を担いながら、事業を進めていくものと理解している。



筏井 哲治
未来創政会

筏井議員の
質問の様子はこちら▼



新高岡駅周辺地区

問 新高岡駅周辺地区について問う。

(1)高規格道路開通にあわせてスポーツコア前道路の渋滞緩和の対策を早急に進めては。(2)高岡おとぎの森公園の子どもたちが水遊びをするエリアを充実させては。



渋滞するスポーツコア前道路

市長 (1)市道駅南一丁目二塚線のうち、スポーツコア周辺、県道高岡環状線と交差する二塚西交差点付近において、特に通勤時間帯や休日等に渋滞が発生していると認識している。この交差点は、令和6年度に供用予定の県道高岡環状線の高架化により、交通状況の大きな変化が予想される。そのため、7年度に可及的速やかに交通量調査ができるよう予算化し、調査結果をもとに県や公安委員会と協議のうえ、交差点レイアウトの見直しや信号時間の調整等、効果的な渋滞緩和対策を実施する。

都市創造部長 (2)子どもたちが水遊びできるエリアとして、おとぎの森館からのせせらぎや、千保川沿いのかっぱの広場を整備している。しかし、かっぱの広場は設備の老朽化により十分に活用されていないため、現在、再整備に向けて検討を進めている。

山町筋への観光バス進入規制

問 山町筋への大型観光バス進入規制を緩和するための課題は。

産業振興部長 山町筋で大型観光バスの進入が規制されているのは、木舟町交差点から高岡郵便局、高岡郵便局から堀上町交差点に係る区間であ

る。警察からは、規制区間の現在の道路幅員や交差点の形状では、対向車とのすれ違い時などにおいて、安全面に課題がある何とっている。



梅島 清香
未来創政会

梅島議員の
質問の様子はこちら▼



中心市街地の魅力向上

問 令和5年度の中心市街地の人口動態が社会増になり、新規開業件数も増加傾向だが、これらを追い風に中心市街地への更なる支援の考えは。

市長 まちの顔となり得るような集客効果が見込まれる大規模店舗を中心市街地へ誘導し、周辺商店街を含む地域経済の活性化を一体的に推進することが重要と考え、令和6年能登半島地震後、被災事業者支援と誘致の両面を捉えて、様々な事業者に声掛けしてきた。10月には飲食業や物販を対象とした大規模店舗に対する開業支援メニューを拡充した。現在、被災された県外の事業者から、支援メニューを活用した出店の相談をいただいている。大変期待しており、

9月定例会後～12月定例会前

- 9月27日 広報広聴委員会
10月2日～3日 港湾・交通・観光対策特別委員会 行政視察
- 5日 議会報告会
11日 代表者会議
人口減少社会対策特別委員会
広報広聴委員会
- 15日 港湾・交通・観光対策特別委員会
17日 代表者会議
総務文教常任委員会
産業建設常任委員会
- 18日 民生病院常任委員会
30日～31日 人口減少社会対策特別委員会 行政視察
- 11月5日 水道病院決算特別委員会
議会改革検討委員会
決算特別委員会
- 7日 決算特別委員会
水道病院決算特別委員会
- 8日 決算特別委員会及び現地視察
水道病院決算特別委員会 及び現地視察
- 13日 水道病院決算特別委員会
決算特別委員会
- 14日 港湾・交通・観光対策特別委員会
- 15日 民生病院常任委員会
- 18日 総務文教常任委員会
議会改革検討委員会
- 19日 人口減少社会対策特別委員会
産業建設常任委員会
- 22日 議会運営委員会
代表者会議
- 26日 代表者会議
- 28日 正副常任委員長会議

12月定例会

- 12月2日 代表者会議
議会運営委員会
議員協議会
本会議(提案理由説明)
議案説明会
議会運営委員会
産業建設常任委員会
港湾・交通・観光対策特別委員会
- 9日 本会議(一般質問(一括))
- 10日 本会議(一般質問(一括))
- 12日 議会運営委員会
- 13日 本会議(一般質問(一問一答))
- 16日 代表者会議
民生病院常任委員会
産業建設常任委員会
- 17日 議会運営委員会
議会改革検討委員会
総務文教常任委員会
- 19日 委員長会議
議会運営委員会
議員協議会
本会議(議案など議決)
民生病院常任委員会
産業建設常任委員会
総務文教常任委員会

多機能地域自治

今後とも積極的に支援していく。

本市にとってなぜ多機能地域自治の導入が有効なのか。

生活環境文化部長 将来を見据え、次世代を担う若い世代をはじめ、あらゆる世代の住民が参画して、力を合わせて組織や活動を効率化していく多機能地域自治は、これからの地域活動を持続可能なものとするため、また、活性化させていくためにも有効である

と考える。

新たな工業団地の確保を

企業投資意欲に対応するためには、新たな工業団地が必要と考えるが、見解は。

産業振興部長 本市では、新たな産業用地の確保に向け、

県の富山高岡広域都市計画の見直しにあわせ、工業系の変更希望を既に提出しており、

その回答を待ち望んでいるところである。一日も早い実現に向けて取り組みたい。



中川 加津代
自由民主党
高岡市議会議員

中川議員の質問の様子はこちら



インクルーシブ防災

本市の個別避難計画の作成状況は。

福祉保健部長 個別避難計画を作成している人数は、令和6年11月1日時点で、避難行動要支援者名簿の登録者1万1302人のうち2328人で、作成率は約2割である。

防災×福祉

福祉課題と地区防災について問う。

(1)地区防災計画の作成に取り組む地区に対し、高岡地域共生あかりプランの理念を共有するよう働きかけては。

(2)持続可能な地域コミュニティの形成には、福祉の観点を踏まえた防災の取組が必要と考えるが、見解は。

総務部長 (1)地区防災計画の作成にあたっては、要配慮者

への支援や男女平等参画など、様々な視点を盛り込み、地域の方々がともに助け合える計画としていくことが大切である。高岡地域共生あかりプランの基本理念や取組は、地区防災計画の考え方に生かせることから、計画作成に取り組む地区に対し、理念等の共有を働きかけていきたい。

市長 (2)福祉の観点も含めた防災の取組は大変重要である。地域住民や防災士、民生児童委員等の福祉関係者が、防災について話し合い、活動を展開することは、災害時の共助の促進や、安全・安心の地域づくりにつながるだけでなく、日頃から顔の見える関係づくりや、絆を深めることにもつ

ながるものと考えている。市としては、引き続き地域における福祉や防災活動を支援するとともに、地域コミュニティの維持・活性化を図ることで、自主的、主体的に課題解決に取り組むことのできる地域づくりを支えていきたい。

YouTubeでの映像配信を行っています!!

本会議の録画映像について、YouTubeでの配信を行っています。表紙のQRコードから映像の一覧を確認できます。また、6～11ページの各議員の顔写真横のQRコードからは、各議員の質問の様子を確認できます。ぜひご覧ください。

委員会の動き

常任委員会では、当局の考えを聞き、付託議案の審査を行いました。委員からの主な質疑と当局からの答弁は次のとおりです。

○総務文教常任委員会

問 新高岡駅利用促進事業費について、令和7年3月の新高岡駅開業10周年記念イベントの詳細は。

答 現在検討している内容としては、市民の方々から提供いただいた写真を使用した北陸新幹線のモザイクアートの展示や、ミニ新幹線の運行、公共交通を生かしたデジタルスタンプリー、マルシェ等がある。また、令和6年能登

半島地震の際に災害援助等で活動した車両等を中心に、働く車の乗車体験を行い、改めて災害への備えについて考えていただくきっかけにしたい。

○民生病院常任委員会

問 急患医療センターの診療



令和7年4月から診療時間が見直される急患医療センター

時間の見直しについて、市内及び市外の住民に対し、どのように周知を図るのか。

答 市民に対しては、市広報紙でお知らせする予定である。市外の方については、高岡地区救急医療対策協議会で作成しているチラシを各市に配布して周知したいと考えている。

なお、急患医療センターの玄関等に掲示も行う予定である。

○産業建設常任委員会

問 賑わい集積開業等支援事業費について、令和6年度の見込が25件になるとのことだが、どのような業種の方が制度を活用されているのか。

答 今回補助を活用して出店された業種は、飲食店が大半である。このほか目立つ業種としては、美容・理容関係だ

が、なかにはサウナを開業された方もいる。

用語解説コーナー

年収の壁

※7ページ掲載

税金や社会保険料などの負担が発生する年収のラインを指す。例えば給与と所得者の場合、基礎控除48万円と給与所得控除55万円を合わせた103万円を超える年収があったときは、その超えた額に対し所得税が課税されることから、年収103万円の壁とされている。

脳脊髄液減少症

※9ページ掲載

交通事故やスポーツ外傷などが原因で、脳脊髄液が漏れ出し減少することにより、頭痛や頸部痛、めまい、倦怠感、不眠、記憶障害など様々な症状を呈する疾患。

3月定例会の予定

3月定例会は、下記のとおり開催される予定です。

なお、日時等は、2月20日(木)開催予定の議会運営委員会で決定されます。

- 3日(木) 11時 議員協議会
- 13時 本会議 (提案理由説明)
- 4日(木) 13時 本会議 (追加提案理由説明)
- 6日(金) 10時 本会議 (代表質問)
- 10日(金) 10時 本会議 (一般質問(一括))
- 11日(金) 10時 本会議 (一般質問(一括))
- 12日(金) 9時 議会運営委員会
- 10時 本会議 (一般質問(一括)予備日)
- 14日(土) 10時 本会議 (一般質問(一問一答))
- 18日(月) 10時 民生病院常任委員会
- 13時 産業建設常任委員会
- 19日(火) 9時 代表者会議
- 10時 総務文教常任委員会
- 21日(水) 9時 議会運営委員会
- 26日(金) 9時30分 委員長会議
- 10時 議会運営委員会
- 11時 議員協議会
- 13時 本会議 (議案など議決)

❖ 詳しい内容については、高岡市議会事務局(☎20-1531)までお問い合わせください。

市議会の傍聴

本会議及び委員会は、どなたでも自由に傍聴できます。

本会議は82名(うち車椅子利用者は5名)まで、委員会は7名まで傍聴できます。

9月定例会以降の傍聴者数

	本会議	委員会
令和6年 10月	—	0人
11月	—	4人
12月	129人	2人

編集後記

令和6年能登半島地震から1年が経過しました。12月定例会では、震災復興の予算などを審議し、活発な論議が行われました。

ところで、市議会の録画映像をYouTubeで視聴できるのをご存じですか。実は令和4年3月定例会から始めた取組で、きっかけは市民の皆様の声です。それまでもインターネットで配信していましたが、「より早く議会の様子を見たい」という要望を受けて、YouTubeを活用することになりました。市議会では、市の予算のチェックや政策提言をするなど、市民生活に直結する論議を行っています。各議員の質問と市当局の答弁を視聴することができ、すので、ぜひご覧ください。

また、議場に傍聴に来ていただくことも大歓迎です。各議員の質問内容は事前に市議会のホームページに掲載されます。予約は不要ですので、お気軽にお越しください。

(出町 記)

★編集委員

◎山上 ○篠井

出町、梅島、田中、埜田、林、中村、坂林、酒井

(◎委員長 ○副委員長)